

結

平

龍龍龍龍

言

結

命

基

考

結

令和八年



小松 壮

「議員任期最終年。最後までやり「尽」くし、次の夢を描く。」岡谷工業高等学校の同窓会長を仰せつかり母校への恩返しや、スポーツ普及に力を入れ、中学生硬式野球チームの会長、中学生ラグビーフットボールクラブの顧問を務め子供との触れ合いや、夢のお手伝いをしています。



山崎 仁

「市民の為に働いて働いて働いてしっかり休む」小学生から始めた野球は今でも50歳野球のチームに加入し各種大会へも出場。足の速さは健在です。ゴルフも腕前は別として多くの方との交流、親交を深めるのが楽しみ。

新年あいさつ

議長 吉田 浩



新年おめでとうございます。

令和8年度は、現議員にとりまして4年間の任期の最終年度となります。社会経済情勢が急速に変化する今こそ、議会に求められる役割は一層重要性を増していると感じております。議員一人ひとりが、それぞれの活動はもとより、市民の皆様の代表としての責務を胸に、議会活動に真摯に取り組んでまいります。

改めて、市議会の諸先輩方が築いてこられた礎の上に立ち、時代の変化に即した議会運営、そしてより開かれた議会を目指して、気持ちを新たに邁進してまいります。天高く馬肥ゆる秋を迎えられるような、活気に満ちた一年となることを願い、全力で努めてまいります。

皆様にとりまして、実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



上田 澄子

「平等な世の中、平和な未来を次の世代につなごう。」
下諏訪の諏訪共立病院に約30年間勤めましたが、その時から患者さんや地域の皆さんと共に健康について考える「泉の会」に参加して健康班会等をやっています。



酒井 和彦

「読みは「テツ」で、口数が多いという意味だそうです。市民のみなさんとたくさんしゃべりたいと思います。」
ほぼ毎月、反原発スタンディングと性暴力反対のフラワーデモに参加。趣味は単車の運転とマッチ棒パズル。



笠原 征三郎

「任期まで、あと1年数か月。改めて議員の「基本」を大切にしていきたいと思います。」
地区の高齢者クラブの役員を15年。クラブの中で80歳の私は若手です。元気なお年寄りの皆さんといると、私も元気になるます。



早出 すみ子

「命が消えていく社会。「命を大事にする社会を目指します」」
横川に住んでいるすみ子です。兔年です。時々、オカリナやパステルにも触れています。地域での「子どもと親のふれあい交流会」を楽しみにしています。

議員一人ひとりの今年にかける思いを

漢字一文字とともに 日頃を紹介



継



吉田 浩

「岡谷市の歴史や先人たちの努力を受け「継」ぎ、岡谷市の今を考え、未来へつないで参りたいと思います。」多世代交流拠点などの地域活動を通じて様々な世代や立場の皆様とお話することが私の活動力の源になっています。

家



秋山 良治

「今年も子どもの成長と一緒に喜べる家に」私の家族は妻と4人の子どもたち。家庭は親子の絆と安心の土台です。子どもたちが帰りたいくなる家を意識しながら、今年も社会の最小単位である家族を大切にしていきたいと思っています。

動



土橋 学

「現場で動くことを大切に、市民の皆様と「ともに創る」岡谷の未来へ、前向きな行動を続けていきます。」地域活動や市民グループへの参加を通じ、「動きたい」という思いを後押ししています。

博



花岡 健一郎

今後も人口減少が続く。21区で構成される地域サポートセンターの体制が整った。今こそ「どぶ板議員」となり、行政と地区の橋渡しとなり、まちの賑わいを取り戻す。

和



藤森 弘

「和を以て貴しと為す」(聖徳太子)。演劇に没頭した学生時代に学んだ「調和こそ和風の神髄」という台詞を胸に、和の心で人心を和らげます。世界の和平と、誰もが心とむ豊かな社会の実現に向け全力を尽くします。

躍



宇野 香二

「心を躍動させて全てに挑戦する、躍進の一年に!」岐阜市出身、大学は名古屋で証券会社入社後千葉市、都内吉祥寺、金沢市と転勤し、岡谷に来て定住となり、地域のために働きたいとの思いが強くなり、今に至ります。

奮



田村 みどり

昨年、愛犬「なつ」が虹の橋を渡ってしまい心に大きな穴が空きました。しばらくして、自分の気持ちを「奮」い立たせて、地域の新設交差点にて「みどりのおばさん」として、安全を願い黄色い横断旗を振り続けます。

結



丸山 善行

「地域との結びつき、市民との連帯、つながりを大きな力へ」日頃は消防団員とし市民の安全を守るために活動。また、地域活動として地元の壮年会や長持ち保存会、林野委員会等地域とのつながりを大切に活動しています。

言



今井 浩一

「脳梗塞になり、失語症と診断をされて1年になります。「言」は、僕にとっては「生」と同義語になりました。」本業は文化芸術のエディターですが、特に演劇は年間300作品は見っていました。それって趣味? いいえ仕事!

経



渡辺 太郎

マイ「スローライフ」の選択。ストレス社会とも言われる、情報過多・デジタル化・効率性等が重視される現代。心身の健康や自然との調和、読書や音楽・映画鑑賞を嗜みながらクオリティ・オブ・ライフを大切にしたい。

結



今井 康善

「一文字「結」には、つながりを力に変え、未来への想いを果たせたいという願いを込めました。」地域の方々との対話や、関わっているすべての団体・NPO等での地域活動を通じ、人のつながりの大切さを実感しています。

考



中島 秀明

「これまでを考察し、新しくを考案する一年に!」趣味はスポーツ観戦。今年は冬季オリンピック・パラリンピック、サッカーW杯やWBCのピックイベントにドジャースのWSの三連覇や松本山雅のJ2昇格など期待満載!

ズバリ！ 市政に問う！

令和7年第5回定例会(12月)
ダイジェスト版

質 問	議員名	ページ
中高生以上の若者の居場所づくりの取り組みは？	宇野 香二	4
ジェンダー平等教育の取り組みは？	早出 すみ子	5
愛着形成・愛着障害についての考え方や認識は？	秋山 良治	5
市内小中学校の通級指導の利用状況は？	渡辺 太郎	6
岡谷市水道事業経営戦略の進捗状況は？	丸山 善行	6
市の子育て支援で、育休退園廃止については？	上田 澄子	7
中学生期の生徒に対する教育（勉強）の考え方とは？	小松 壮	7
岡谷市内の小中学校、登下校中の交通事故の状況は？	花岡 健一郎	10
水道事業の経営状況をどのように分析しているのか？	田村 みどり	10
岡谷市のDX化は？	中島 秀明	11
県パートナーシップ届出制度の市の対応状況は？	酒井 和彦	11
令和8年度予算編成の基本方針は？	藤森 弘	12
災害時、要配慮者の避難体制は十分か？	土橋 学	12
「手話言語条例」制定に関する考えは？	今井 浩一	13

一般質問

●議員が、執行機関である市に対して、事務の執行状況や将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は“くじ”で決めています。

※なお、掲載内容は、質問者の文責によるものです。

岡谷市公式チャンネル

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



宇野 香二



中高生以上の若者の居場所づくりの取り組みは？

フリースペースとしてカルチャーセンターに学習室、憩いの広場を設置しており、ダンス音楽室や青少年活動室も利用可能である。課題としては、周知が十分でないことが課題。

しき、コストの増加、利用料金の高額化等の課題があり、引き続き研究を深めていく。

人口減少社会におけるまちづくり

Q「これまで行ってきた人口の「社会減」に対する施策の効果は？」

A 社会動態として令和5年が122人、令和6年が102人と減少幅が縮小傾向で成果が出ている。

Q「岡谷というまちの魅力を高めるための抜本的な取り組みが必要と考えるが、市長の見解は？」

A 人口減少対策は自治体の施策だけで解決できる問題ではなく、国全体の問題と捉えている。本市の魅力を発信し、知って頂けるよう、ステイプロモーションに力を入れることが、地方の人口減少対策に繋がっていくと考えている。



若者の居場所づくり



Q ジェンダー平等教育の取り組みは？

呼称は「さん」と呼ぶ習慣や名簿の男女のチェック覧の廃止。男女共同参画でのポスターコンクールに参加や社会科、家庭科、道徳、特別活動等の教科においてジェンダー平等の意識を育んでいる。



Q 愛着形成・愛着障害についての考え方や認識は？

特定の人との関係を通じて形成される心理的な絆。生きるために必要な安心感や信頼感の土台。乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が養われる重要な時期である。



早出すみ子



Q 児童生徒の変化は？

A 中学校において生徒会役員が中心となり、制服のあり方についてジェンダー平等の視点から、自分たちで考え、自由な服装で登校できる私服ウィークを設ける等の取り組みが進められている。「ジェンダーレス制服」について学習し、生徒自身の活動に拡がる。

Q 評価は？

A 自己のあり方を考える機会となり、自分の個性を肯定し、他者を理解する心の醸成につながるものであり、大変評価している。

プラスチックごみについて

Q プラスチックごみの取り組みは？

A 燃やすごみの減量、最終処分場の延命化、循環型社会の構築を推進する。プラスチック製容器包装と製品プラスチックのリサイクルの分別収集している。資源化されたプラスチックが増となり、ごみ減量に大きな効果がある。マイボトルの取り組みとして給水スポットを市内7カ所に設置する。

要望…プラスチックが身体に及ぼす影響の周知とプラスチックを使わない生活スタイルの見直しの広報。

子育て支援について

Q 小中学校の学校給食無償化は？

Q 国の小学校の給食費無償化に対して市の考えは？

A 平均月額額の4700円で国の負担は2分の1であり、市としては多額の財源負担となる。令和8年度予算編成で検討する。

要望…市長の公約として任期内に実現を。

子どもの医療費窓口完全無料化

Q 県内の状況と市の考えは？

A 49市町村が実施。全体のバランスを見て検討する。



未来はジェンダー平等社会



秋山 良治



Q 母子保健事業での取り組みは？

A 新生児のうちから、授乳やおむつ交換など生理的欲求を満たしながら目を見て話しかける、ふれあい遊びなどスキンシップにより安心感を与えることなどが積み重なり、愛着は形成される。関係機関と連携して子育て支援を行っている。

ひきこもりについて

Q 岡谷市の調査結果と実数把握は？

A 平成31年2月～4月に行った調査によると、本市におけるひきこもり状態にある方は42名。これ以降、市が独自に行った調査はない。

Q 取り組みや相談件数について

A 相談窓口は「まいさぽ岡谷市」がある。令和4年度から市民対象でひきこもりに関する講演会を開催し、

全般的な理解の促進と相談先の周知、家族の接し方など学習を重ねている。相談件数は令和6年が20件。

外国人と多文化共生について

Q おかや文化振興事業団交流センターでの多文化共生事業の内容と実績は？

A 日本語教室の開催（30回、延べ158名、11か国の方が参加）、在外外国人相談窓口の設置（相談件数198件）、SNSでの情報・イベント発信、国際理解を深める各種イベント（日本人も参加できる交流会、防災訓練等）を実施。

Q 多文化共生の定義は？

A 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として、共に生活していくことを定義としている。



愛着形成とは一生を支える心の土台づくり

Q 市内小中学校の通級指導の利用状況は？

令和5年度、通級指導を受けている児童生徒は、小学校58人、中学校13人の計71人。令和4年度から8人増加し過去最多となった。



渡辺 太郎



Q 発達障がい児の医療機関での初診待ちの状況は？

A 診察できる医療機関が少なく発達に特性のある子どもが増加し、初診まで約1年待ちとなっている。

Q 具体的な支援の現状は？

A 初診までの長期化を受け、少しでも早期療育に繋がるよう、臨床心理士や言語聴覚士等による意見書や発達検査を医師の意見書に代えてサービス利用の根拠とするよう令和6年度から手続きを始めた。医師に繋がるまでの間は、子ども発達支援センター等の機関で必要な相談や療育支援を提供できるよう取り組んでいる。受診までの間、子どもや家族の不安を少しでも解消できるよう医療・福祉・教育等で密に情報を共有し、きめ細かなフォロー体制に心掛けている。

次期学習指導要領

Q 文部科学省が2030年度からの

次期学習指導要領の論点整理を示しているが市の見解は？

A 個別指導計画の対象範囲の拡大の検討がされているが、特に不登校や特異な才能を持つ児童生徒への支援が強化されることは学校現場にとっても大きな改革になる。

Q 川岸学園整備に先行的に取り入れていく考えはあるか？

A 新たな義務教育学校として、可能なものは活かしていきたい。

避難所等の通信確保

Q 指定避難所等への衛星インターネット機器等を活用する考えは？

A 市ではスターリンク等の衛星インターネット機器等は所有していないが令和7年度より長野県が10の地域振興局へ配備し借用できる体制が整備されている。

災害時に有効活用できるよう連携を図る。

衛星インターネット、スターリンク



Q 岡谷市水道事業経営戦略の進捗状況は？

水道施設再構築事業では旧市内と長地地区のAゾーンの再構築事業が完了し、水道施設耐震化事業では管路の耐震化や、老朽管の更新事業においても計画的に進めている。



丸山 善行



Q 整備計画の見直しや、新設する配水池等の設備統合の必要性は？

A 川岸配水池と花岡配水池の更新を予定。なお、新設する川岸配水池と花岡配水池は統合する。

Q 小井川配水池、小井川浄水場の今後の利用方針は？

A 今後の水需要の見込みや新たな配水池を整備する際に必要性などを考慮し、適切な時期に両施設の廃止を検討してまいりたい。

Q 電力使用量・動力費の動向は？

A エネルギー価格が高騰する以前と比較すると4千万円から5千万円ほど増加し、利益の確保が難しいが、施設の統廃合やダウンサイジングを進め、将来的には動力費は削減できる見込み。

Q 広域連携によるメリット、デメリットは？

A メリットとして業務の合理化による経費削減や技術職員等の確保、

デメリットとして施設整備に多額の費用が必要なこと、水道料金を事業者間で合わせる必要がある。

Q 設置状況は？

A 8校にあり、男女共用トイレは3箇所。学校施設の屋外トイレとして設置しているものと、社会体育活動の一環として少年野球チーム等が使用できるよう独自に設置しているものがあり、設置された年代が古く老朽化等により使用していないものも確認している。

Q どのような方向性で改善する？

A 休日や長期休業中の社会体育活動等でトイレを利用する場合は校舎内のトイレを学校開放して利用できるようにし、改修する際には可能なものは外側への扉の設置などを検討していきたい。



おいしい水をいつまでも



市の子育て支援で、育休退園廃止については？

育休退園は、年度途中に保育が必要となった家庭の入所枠確保や、園の保育士確保、施設整備等の課題があり、すぐに廃止は難しいが、将来的には撤廃したい。



知識や技術を詰め込むことではなく、知識は社会で活躍するための「道具」として重要、もっと大切なことはこの道具を使いこなす自ら考え判断し表現する力を磨くこと。



中学生期の生徒に対する教育（勉強）の考え方とは？



上田 澄子



学童クラブの利便性向上について

Q 学童クラブの登録者の割合と学校休業日の使用料は？

A 令和7年度の登録者の割合は、35.7%で、年々増加傾向。学校休業日の使用料は1日当たり600円が基本となっている。

Q 休業日が多い8月に学童を最大利用した場合の保育料は？

A 最高11,900円だが、夏休み中の平均利用日は5日程度であり、そこまで高額にはなっていない。

加齢性難聴について

Q 市の健診で高齢者の聴力検査が必要と考えるが行っているか？

A 高齢者の健診項目は国の基準に基づいて行っており、聴力検査は含まれない。また、健診実施医療機関に専用の聴力検査機器等も必要で導入は難しい。本人や家族の方等が異常を感じたら、医療機関を受診して

ほしい。

Q 補聴器購入助成の所得制限撤廃や増額については？

A まずは、低所得の方が購入する際の背中を押すこと、また、今年度から始めたばかりの制度であり一定の条件はご理解願いたい。

小中学校における主権者教育について

Q 学校での主権者教育の取り組みは？

A 小学6年では社会科で、中学校では社会科の公民的分野で、段階に応じた学習を行っている。また、児童会・生徒会の選挙や、標語・作文・ポスター等の作成を通して理解を深める等している。

Q 子ども議会の取り組みは？

A 以前開催したこともあるが、児童生徒や教職員への負担が大きくなり開催は難しい。しかし、子ども会議として、まちづくりの発表や提言の場を設ける等していきたい。



子育て支援の拡充を



小松 壮



Q 生徒の可能性をどのように引き出してやることのできるのか？

A 引き出す鍵は「自己肯定感」つまり自分は役に立っている、必要とされていると感じる有用感に満たされた幸せの実現である。そのために二つの取り組みが上げられる。一つ目は「多様性を包み込む学校づくり」でいじめ根絶に向けた取り組みを通じて命の尊厳や平和の大切さを学び合い、互いを認め合える良質な学校風土の醸成に努めること。二つ目は「岡谷のひと」づくりの理念に基づき、学校の力、家庭の力、地域の力、そして行政の力が連携して生徒の力を支えること。

Q 子供に寄り添った教育方法や考え方は？

A インクルーシブ教育の精神であり多様性を包み込む学校づくりの推進にはかならない。困難さを抱える児童生徒や不登校の生徒に対し教育

信州やまなみ国スポ・全障スポについて

Q 取り組み状況は？

A 市民総合体育館及びやまびこアイスアリーナの施設改修を進めるとともに先催の事例等を参考にしながら競技用具の整備計画やボランティアを含めた人的配置計画、輸送計画や宿泊計画などより具体的な内容について検討をしていく。

Q 大会の機運を高めるために卓球のプリーグ（リーグ）の大会誘致はできないか？

A 長野県卓球連盟を通じて令和9年度のシーズン中の公式戦開催の打診を頂いている。



盛り上がり期待！

姉妹都市交流を実施しました



妙義山ビジターセンター



富岡製糸場

10月16日、岡谷市議会は姉妹都市である群馬県富岡市議会を訪問し、交流研修会を行いました。今年は岡谷市議会が富岡市を訪問する番となりました。

富岡市では、世界遺産に指定されている富岡製糸場を訪れました。明治5年に創設された官営工場は日本の近代化を象徴する存在であり、実際に建造物を目にする事で、岡谷の製糸業の歴史と重なる部分を実感しました。館内では操業当時の様子や技術の変遷について丁寧な説明を受け、両市が歩んできた産業の軌跡を改めて学ぶ機会となりました。

今回の訪問を通じ、歴史的な結びつきを持つ姉妹都市として、市議会として互いの強みを認め合いながら市政をより良い方向へ導く意義を再確認しました。今回得た知見を、岡谷市の産業振興や観光事業の充実、さらには市民福祉の向上へとしっかりとつなげてまいります。

(文責…藤森弘委員)



富岡市議会との姉妹都市交流

続いて富岡市役所庁舎と本会議場を視察し、議会運営の工夫や市民に開かれた議場づくりについて意見交換を行いました。人口規模や議会構成が岡谷市と近いこともあり、互いの課題や取り組みに共通点が多く、今後の議会活動に生かせる学びを得ました。また帰路には妙義山ビジターセンターにも立ち寄り、地域の自然資源の保全や活用に関する取り組みについて理解を深めました。

行政視察の受け入れを実施しました

市議会での議会改革の取り組み（シンポジウムや対話集会の実施、マニフェストスイッチの活用など）は、同じように議員のなり手不足に悩む他市町村の議会から、注目度が高まりました。

また、市議会を代表し今井（康）前議長が、札幌市で開かれた第20回全国市議会議長会研究フォーラムにパネリストとして登壇し、地方都市の議会が抱える課題と取り組みについて、岡谷市議会の事例を発表し意見交換等を行いました。

今年度は、様々な地方議会から行政視察の問い合わせが増加し、下記のとおりの実施状況となっています。

本年度の行政視察受け入れ一覧

日 時	受け入れをした議会	内 容
10/27	静岡県裾野市議会議会運営委員会	議会改革
10/30	大分県中津市議会	テクノプラザ
11/11	秋田県大館市議会議会運営委員会	議会改革
11/12	埼玉県深谷市議会議会運営委員会	議会改革
R8.1/14	大分県佐伯市議会議会改革推進委員会	議会改革



大館市議会（議会運営委員会）の視察の様子

市議会が関係する広域連合や一部事務組合（以下「組合等」）の各議会について

組合等では、9月～11月に定例会が開かれ、それぞれ決算認定や議案の審議、一般質問等が行われました。市議員はそれぞれの議会にて審議等を行い、12月の全員協議会において、議員間で報告等を行いました。

湖北行政事務組合

構成市町

岡谷市・下諏訪町・辰野町

主な施設等

湖北火葬場（湖風苑）、湖北衛生センター

議案審査等

湖北衛生センター投入手数料（運搬車（バキューム車）1台につき）638円の値上げ

については、社会経済情勢の変化等や住民負担の観点から審議、採決の結果、可決。

湖北火葬場（湖風苑）の使用料の値上げは、高い公共性と物価

上昇率とのバランスなどの点で審議、採決の結果、可決。

湖北火葬場使用料の見直し（主なもの）

※新料金の適用は令和8年4月1日以降



湖北火葬場（湖風苑）

	管 内	管 外
	13歳以上	13歳以上
現 行	10,000円	50,000円
見直し後の料金	12,000円	60,000円



湖北衛生センター

湖周行政事務組合

構成市町

岡谷市・諏訪市・下諏訪町

主な施設等

諏訪湖周クリーンセンター（ecoポップ）

議案審査等

（全員協議会での報告）湖周地区一般廃棄物最終処分場の候補地の選定に関して、建設予定地の決定に向けて諏訪市有地の検討のみならず民有地も含めた可能性を探るため建設候補地の公募を行い、候補地選定委員会での審査・選定を経て諏訪市として建設候補地に決定した。

建設候補地

諏訪市湖南北真志野区（湖南7838番地ほか）



諏訪湖周グリーンセンター

諏訪広域連合

構成市町村

岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村

主な施設等

諏訪広域行政の推進、介護保険、諏訪広域消防本部

議案審査等

一般会計歳入歳出ほか特別会計等の決算認定



公立諏訪東京理科大学



諏訪広域消防本部

諏訪広域公立大学事務組合

構成市町村

岡谷市・諏訪市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村

主な施設等

公立大学法人公立諏訪東京理科大学

大学

議案審査等

大学の業務の実績に関する評価、一般会計歳入歳出決算認定

吉田 浩
土橋 学
宇野 香二

吉田 浩
秋山 良治
山崎 仁
今井 浩一
早出 すみ子

Q 岡谷市内の小中学校、登下校中の交通事故の状況は？

A 令和7年度、11月末時点で0。6年度は、小学生1件、中学生1件。いずれも下校中の事故で、学校近くの市道の歩道より車道へ飛び出しての事故。



花岡健一郎



Q ヘルメットの着用状況や着用指導は？

A 令和5年度、道路交通法の改正で着用が努力義務となったことから、機会を捉えて着用の啓発と交通安全指導を行っている。

Q 下校時の「見守り隊」の課題は？

A 見守りボランティアの皆さんは、日頃から子供達の登下校時にやさしい声掛けや、交差点での誘導をしていただいております。子供たちの安全を支えており、大変感謝している。高齢化や定年延長など、世代交代がでないことが課題のひとつ。

令和7年度一般会計の財政状況について

Q 概要は？

A 約3割が民生費。民生は、生活保護や高齢者福祉、障がい者福祉、

児童福祉、国民健康保険事業、介護保険事業への繰出金など幅広く必要な費用を計上している。高齢化の進展、少子化対策、物価高対策など年々予算規模は拡大しており、今後増加が見込まれる。

湊湖畔公園での「社会実験」の状況について

民間事業者の信州BBQ協会の協力のもと「手ぶらBBQ」を2期間実施し、7月中旬から10月末の約3か月の間では、208組1216人の利用があり、利用者の7割が県内の任意のWEBアンケートを実施したが、ロケーションなど満足度が高いもののほか、園内の照度に関する安全対策やトイレなどに関するご意見もいただいております。今後の公園整備の参考として県とも協議を重ねていく。



公園でのバーベキュー

Q 水道事業の経営状況をどのように分析しているのか？

A 給水人口の減少に伴い給水収益が減少する一方で、エネルギー価格や物価の高騰、労務単価の上昇の影響を受けて費用が大幅に増加。現行料金のまま健全経営を継続することが非常に厳しい状況。



田村みどり



Q 水道料金の改定への市民周知を含めた今後のスケジュールは？

A 水道料金の改定案は、上下水道事業運営審議会へ諮問している。現在、審議中であり、12月中旬に答申をいただく予定。答申内容を踏まえて1月には市としての方針を決定し、3月定例会へ条例改正議案を提出予定。現時点では、新料金の適用は、令和8年7月以降の検針分からとする考え。議会において、条例改正を認められた場合、4月以降、水道使用者や関係団体に対して、広報やホームページ、出前講座などを通じて周知と丁寧な説明に努めていく。

諏訪湖スマートインターチェンジ開通後の交通量の変化

Q 開通後、県道岡谷茅野線がこれまでより渋滞していると感じるが渋滞の原因と対策は？

A 県道岡谷茅野線の慢性的な渋滞

については、県諏訪建設事務所や岡谷警察署も認識している。渋滞には様々な要因があると思う。抜本的な対策を講じることは難しい状況である。県道岡谷茅野線に新たに設置した信号機については、交通状況予測する中で、岡谷警察署において時間設定を変更するなどの対応を行っている。信号機は、道路の安全と円滑な交通を守り、交通事故防止にもつながっているため、引き続き関係機関と課題を共有し対策を検討する。

令和7年長野県総合防災訓練

Q 本訓練の経験を踏まえ、市民への呼びかけや今後の取り組みは？

A 日頃から家具の固定や避難経路の確認に加えて、必要な備蓄物資等の備えを最低三日分、できれば一週間分の確保等、ご自身ご家族の安全確保するためのいざという時の備えを引き続きお願いする。また、自助・互助・共助を支える自主防災組織の支援を継続的に、災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。



いざという時のための備えを

Q 岡谷市のDX化は？

A 岡谷市DX推進計画で岡谷市のデジタル（DX）化を推進する。



中島 秀明



Q 岡谷市DX推進計画の内容は？

A 国が策定した「自治体DX推進計画」を踏まえて、「岡谷市ICT利活用推進ビジョン」を改訂した「岡谷市DX推進計画」では、行政サービスのデジタル化、デジタル化による地域活性化と人に優しいデジタル化の三つを基本方針として、デジタルツールの導入だけでなく、行政変革に向けてデジタル化による業務の見直しと効率化により市民サービスの向上を図ることで市民がその恩恵を実感できる姿を目指して取り組んでいる。

要望…DX化による地域活性化としてオカヤペイを行政関連の料金や手数料等の支払いや公共施設における利用が出来るように要望。

第二期ギガスクールについて

Q ギガスクールが目指す教育は？

A 第二期のギガスクール構想では、第一期で購入した一人一台端末の更新と高速ネットワーク化の推進により、学校におけるICT機器の活用で情報活用能力の向上と一人ひとりに最適化された質の高い学びを実現することにより、ICT基盤におけるより深い学びと確かな成長を実現できる環境の整備を目的としており、本市では、「岡谷市小中学校情報機器等整備計画」に基づき、端末の整備・更新、ネットワーク整備、校務DX化と一人一台端末の利活用の四つの計画に向けて取り組んでいる。

要望…第二期ギガスクール構想で更新に伴って廃棄される予定の端末を地域DX化の用途に向けてOSの入れ換え等により再利用する可能性について再検討を要望。



タブレット端末の活用

Q 県パートナーシップ届出制度の市の対応状況は？

A 対応する行政サービスは公営住宅の入居・罹災証明の代理申請・職員の福利厚生等の3項目。ほかに県と各市町村が協議し確認して整備中のものとあわせると9項目。



酒井 和彦



Q 市のウェブサイトにおける同制度の対応内容の記載は？

A 内容は県のページで確認していただく。市に相談があった場合には関係部署や担当者と連携して対応。

Q 他の自治体で類似の制度を夫婦別姓などのために性的マイノリティでない事実婚カップルも利用するケースがある。従来事実婚カップルに利用されてきた住民票の未届の夫／妻との扱いの違いは？

A 行政サービスは多岐にわたり、一概には答えられない。個々の状況に応じ丁寧に対応。

Q 市民病院においての対応は？

A 医療における判断は重いものであり、一概に近親者と同じに扱うとは言えない。判断はケースバイケース。

自殺防止について

Q 岡谷市の自殺対策は？

A 岡谷市自殺対策計画を策定、各種施策を講じている。

Q 全国的には男性の自殺率は女性のおよそ2倍、岡谷市の男女差の状況は？

A 過去5年間の傾向では男性が約8割、女性が約2割と、男性の割合が高い。

Q 国内では若年女性の自殺者が増加しているが市としての対応等は？

A 教育委員会と連携、SOSの出し方に関する教育や思春期健康教育の実施に注力。若年層には二十歳を祝つ会や新社会人の集まる機会等に相談窓口を周知。

Q 男女それぞれの対策は？

A 男女差にとらわれず庁内各部署横断的に実施。

「ゲートキーパー」の養成講座を随時開催、インターネットでメンタルヘルスチェックができる「こころの体温計」など。



長野県パートナーシップ届出制度

令和8年度予算編成の基本方針は？

厳しい財政状況だが、第5次総合計画の重点プロジェクトである子育て、安全安心、産業の充実、魅力発信の4つに重点配分し、未来を見据えた施策を着実に実施する。



藤森 弘



Q「選択と集中」の基準は？

A 予算編成にあたっては、限られた財源を以下の4つの重点施策へ配分する基準を設けた。①子育てしやすい環境の実現：希望する年齢での結婚、出産、育児を叶え、教育の希望を満たす施策を展開する。②安全・安心の伸展：少子高齢化に適応し、誰もが健康で生きがいを持って暮らせるまちづくりを進める。③未来に向けた産業の充実：企業誘致や新規創業支援により仕事を創り、安心して働ける雇用の創出を図る。④魅力発信と賑わいの創出：地域資源の再発掘や岡谷駅周辺・川岸学園整備を通じ、住み続けたいまちを目指す。

Q 広域連携の強化策は？

A 多額の経費を要する「情報システムの共同調達」など、「コスト縮減が見込める分野について検討を進めている。

Q 市長の市町村合併に関する基本的な考え方は？

A 急激な人口減少社会において、単独市町村で全ての行政機能を担うことは困難になると想定される。広域連携によるスケールメリットを活かす必要性を強く感じている。

市町村合併については、そのための選択肢の一つではある。しかし、合併には相手が存在することから、まずは互いの市町村が理解し合い、そのための雰囲気作りを進めていくことが大切と考える。

岡谷市民病院の経営について

Q 一時借入金翌年度繰越額が5億円にもなった経緯の説明を？

A 地方公営企業法第29条第2項に基づき翌年度への借り換えが認められている。しかし、本来は当該事業年度内で償還すべきものであり、あくまで例外的な対応であって、経営悪化による「やむを得ない対応」であった。



市町村広域連携を推進

災害時、要配慮者の避難体制は十分か？

個別避難計画の作成を進め、要支援者の登録率は向上している。今後は地域や関係機関と連携し、福祉避難所の体制強化や計画の実効性向上を図り、災害時の安全確保に取り組む。



土橋 学



Q 災害時に自力避難が困難な方への支援は？

A 避難行動要支援者は1222人で、登録率は62.4%。個別避難計画は351人分が完成している。未登録者への周知や手続き簡素化、地域の協力を得ながら作成を進めている。

福祉避難所の受け入れ体制

Q 福祉避難所の整備状況は？

A 市内11施設と協定を締結し、最大262人の受け入れを想定している。訓練の検証を踏まえ、設備や物資、人員体制の確認を行い、迅速な開設と円滑な運営に備える。

ペット同行避難への対応

Q ペットと一緒に避難できる体制は？

A 国の指針に基づき同行避難を基本とし、避難所では専用スペースを設ける。訓練や周知を通じ、トラブル防止と多様な避難者が共存できる環境整備を進めている。

いじめ以外の理由による不登校支援

Q 不登校や登校渋りの現状は？

A 無気力や不安、生活リズムの乱れなど、理由が明確でないケースが増えている。本市でも同様の傾向が見られ、早期の気づきと継続的な支援が重要とされている。

早期支援と相談体制

Q 支援体制は十分に機能しているか？

A スクールカウンセラー等が連携し支援を行っている。特に小学生段階での支援を重視し、学校・家庭・関係機関が連携した相談体制の充実を進めている。



支え合う避難

Q

「手話言語条例」制定に関する考えは？

まずは6月に公布された「手話施策推進法」で求められている内容を精査し、必要な施策展開を進めることが重要。近隣市町村の動向を注視し、検討を深めたい。



今井 浩一



Q 手話に関する取り組みは？

A 手話通訳者設置事業、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、「諏訪地域手話奉仕員養成研修事業」を行っている。令和3年度には長野県の「遠隔手話通訳システム」により、ネット環境を利用した手話通訳の体制整備を行った。市役所窓口では、聴覚に障がいのある方が望まれる会話方法を確認し、主に筆談でコミュニケーションをとっている。

Q 「諏訪地域手話奉仕員養成講座」の実績は？

A 平成25年から岡谷市社会福祉協議会に委託して12年。平成28年度から令和5年度（令和2年除く）に延べ105名が課程を修了。岡谷市在住は42名。

Q 令和10年開催予定の全国障害者スポーツ大会での取り組みは？

A 卓球競技は個人戦で、障がい区分に応じたカテゴリー分けの仕組みになっている。参加選手には、手話通訳などサポートを必要とされる方もいらつしやる。観客の含め会場以外の場所でも必要なサポートを受けられる体制を検討していきたい。

Q 「第6次岡谷市障がい者福祉計画」などに向け、ろう者への意見聴取は？

A 計画策定にあたり、無作為抽出にて障がい者手帳を所持している市民800名にアンケート調査を実施中で、ろう者の方も含まれる。また障がい福祉団体、計画相談員にも懇談やアンケートで意見聴取を予定。聴覚障害者協会にも積極的にご意見をお聞



手話

中学生の一般質問の傍聴

岡谷北部中学校3年生3クラスが、「公民」の地方自治を学ぶため、第5回定例会の一般質問を傍聴してくれました。傍聴前、市議会を代表し吉田議長より「まずは難しいと思わずに、議会というものを直接体験してほしい」とのあいさつの後、山崎副議長（広報広聴委員長）より、市議会の概要について説明をしました。その後、いよいよ傍聴（約40分）となりました。

学校の授業において傍聴して思ったこと、わかったことを全生徒さんが文章に書いたとのことでした。いくつか共有いただくことができましたのでご紹介します。

「地域をよりよくするため、細かいところまで話し合っていて印象に残った。市議会を知ることができた。思っていたよりも身近にあることがわかった。で、私たちが住んでいる地域だからもっと関心を持ちたい。地域のために行動してくれている方々に感謝したいと思った」



「……岡谷市民のために動いてくれている人たちがいて今の自分たちは支えられているということを知ることができた」
「……一般質問通告書を見て「私だったらどうするか」などと岡谷市のために自分は何ができるのか……そんなことを考えられるいい機会になった」など、有意義な体験となったとのこと感想をいただきました。

当委員会としましても、広報と広聴活動をより進めていけるよう研究などを重ねるとともに、各議員が市民の代表としてしっかりと取り組んでいかなくてはならないと、再認識する機会となりました。

（文責…山崎仁 委員長）



令和7年第5回定例会

(主な議案の審査結果)

令和7年11月28日から12月11日まで
の14日間の会期で開かれ、議案29件等
が審議されました。

総務委員会へ付託

◆議案第95号から第99号 議案の概要



川岸学園の整備に係る工事請負
契約について、11月5日(水)に
実施した第二期工事の「川岸小学
校の長寿命化大規模改修工事」と
「接続棟施設の新築工事」の入札に
おいて関連する6件の工事のうち、
5件が市の設定した予定価格を上
回ったため不調となった。そのた
め、関係法

令に基づき
最低価格を
提示した事
業者と契約
に向けた協
議を進め、
契約手続き
を行いたい
もの。



◆審査の視点及び本会議からの付託 事項

随意契約により落札率が100%に
なっていることについて審査

不落後に随意契約ができる制度は、
競争入札による落札者が決定しない場
合の例外的なもの。一部を除き、競争
入札時に定めた予定価格等を変更する
ことなく、個別に価格交渉等を行うこ
とで、発注機関が随意契約を締結でき
る地方自治法施行令の規定によるもの。
一般競争入札の総合評価落札方式の
最高得点の業者と最低入札者が一致し
ており、そのほかの業者と最初に協議
を行う理由がないため、まずはこの最
低入札者と協議を行ったものである。

落札率が高い点については、関係法
令の規定により予定価格等を変更する
ことなく当該業者と協議を行い、当初
の入札時にの内訳書をもとに、市の設
計額(予定価格)と入札額に差があつ
た箇所について、業者へのヒアリング
等により原因の確認を行い、入札時の
図面や内訳書からは十分に読み切れな
かった場所などについて精査した。
業者からは、長期工事であることから
細かく読み切れない箇所もあり、現在
の経済情勢を考慮し、読み切れない箇
所を高めめの金額で見積らざるを得ない

との意見があった。これらの箇所につ
いて、設計事務所を交えて内容の再確
認を行い、疑問点をなくした上で、再
積算が実施されたほか、より安価な同
等品とされている材料や機器なども含
め、様々な方法により見直しを行って
いただいた結果、予定価格の範囲にお
いて再度見積もりし、協議が整ったも
のである。

※質疑討論の後、採決が行われ、総
務委員会で全会一致で可決。本会
議での採決結果は次頁の表。

社会委員会へ付託

◆議案第83号 おかや総合福祉セン ターの指定管理者の指定について

◆審査の視点 〇〇
物価高騰等の影響と人件費や業務委託
料の妥当性

(社会委員会での主な討論等)

おかや総合福祉センターの令和8年
度から令和12年度までの収支予算計画
書について、職員の人件費と業務委託
料が年々増えている理由について質疑。
職員の人件費の増額分は、毎年の給
与のベースアップを考慮して積算した
もの。委託料の増額分は、労務単価の
上昇が見込まれるため、その部分を
積算したものである。

経費削減の取り組み内容について
質疑。

照明器具のLED化、使用電力の抑
制による契約料金の引下げ、ボイラー
の燃焼効率を高めることを職員全体で
取り組んでいる。

※質疑討論の後、採決が行われ、社
会委員会で全会一致で可決。本会
議での採決結果は次頁の表。

産業建設委員会へ付託

◆議案第88号 岡谷市都市公園の指 定管理者の指定について

◆審査の視点 〇〇
指定管理者が変わることによる影響

(産業建設委員会での主な討論等)

公募における仕様書の内容について
質疑。

昨今の気象状況や利用者の意見等も
踏まえる中で検討を図り、開園期間を、
3月から12月までに変更し、スポーツ
の振興と利用者の健康増進の視点から、
冬の屋外で滞在型アクティビティの追
加、岡谷駅周辺街の将来ビジョンの策
定を踏まえ、やまびこ公園と周辺施設
の連携、公園内の施設の機能改善及び
利用促進として、アウトドアレジャー
施設等の設置の検討といった内容とな
っている。

現在の指定管理者との事務的な引継ぎや従業員の体制について質疑。

業務を引き継ぐという点を踏まえて適正に処理を進めていくのが良いと考えている。従業員は、現在の指定管理者において管理等をしていく方が、引き続き知見を持って管理等を行い、引き継ぎがなされるのが良いと考えている。

※質疑討論の後、採決が行われ、産業建設委員会で全会一致で可決。本会議での採決結果は下の表。

○令和 7 年第 5 回定例会（全会一致で可決等された議案等）

議案番号	件 名	議案番号	件 名
議案第 79 号	岡谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岡谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第 93 号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第 80 号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	議案第 94 号	岡谷市職員の給与に関する条例及び岡谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 81 号	岡谷市勤労青少年ホーム条例及び岡谷市勤労会館条例の一部を改正する条例	議案第 95 号	工事請負契約について
議案第 82 号	岡谷市火入れに関する条例の一部を改正する条例	議案第 96 号	工事請負契約について
議案第 83 号	おかや総合福祉センターの指定管理者の指定について	議案第 97 号	工事請負契約について
議案第 84 号	岡谷市勤労青少年ホーム及び岡谷市勤労会館の指定管理者の指定について	議案第 98 号	工事請負契約について
議案第 85 号	岡谷市岡谷駅前広場及び岡谷市岡谷駅前自転車駐車場の指定管理者の指定について	議案第 99 号	工事請負契約について
議案第 86 号	岡谷市文化会館の指定管理者の指定について	議案第 100 号	令和 7 年度岡谷市一般会計補正予算（第 9 号）
議案第 87 号	日本童画美術館の指定管理者の指定について	議案第 101 号	令和 7 年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 88 号	岡谷市都市公園の指定管理者の指定について	議案第 102 号	令和 7 年度岡谷市水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 89 号	市立岡谷美術考古館の指定管理者の指定について	議案第 103 号	令和 7 年度岡谷市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 90 号	岡谷市やまびこ国際スケートセンターの指定管理者の指定について	議案第 104 号	令和 7 年度岡谷市病院事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 91 号	令和 7 年度岡谷市一般会計補正予算（第 8 号）	議案第 105 号	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 92 号	令和 7 年度岡谷市水道事業会計補正予算（第 1 号）	議案第 106 号	令和 7 年度岡谷市一般会計補正予算（第 10 号）
			議員派遣について

○令和 7 年第 5 回定例会（賛否が分かれた議案等及び議員の採決態度一覧）

議案番号	件 名	議決結果	吉田 浩	秋山 良治	土橋 学	花岡健一郎	小松 壮	山崎 仁	藤森 弘	宇野 香二	田村みどり	丸山 善行	上田 澄子	酒井 和彦	今井 浩一	渡辺 太郎	今井 康善	中島 秀明	笠原征三郎	早出すみ子
議案第 107 号	OTC 類似薬の保険給付の在り方の見直しについて慎重審議を行うよう求める意見書	否決	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○
議案第 108 号	衆議院議員の定数を削減しないよう求める意見書	否決	議長	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○

編集後記

新年あけましておめでとうございます。おかげさまで「議会のひろば」も42号を迎えることができました。みなさん、お読みいただいているでしょうか？ なかなか感想を聞くことが少ないですが、委員一人ひとりがあたたかいと悩みながら、議員の思いを伝えていきます。また、印刷業者が変わり、女性が担当して全体の色、デザイン、カットなどが変化しています。みなさんのご意見をお待ちしています。議員の文字はどうでしょうか？ 新年を迎える決意を伝えていきます。一緒に元氣よく、健康に生きますように。（早出すみ子）

ご意見・ご要望
市議会だよりについてご意見
ご要望を受け付けています。
連絡先
岡谷市議会事務局
TEL：23-4811（内）1711
FAX：22-6213
メール
gikai@city.okaya.lg.jp

広報広聴委員会
委員長
山崎 仁
今井 浩一
中島 秀明
早出すみ子
藤森 弘
小松 壮
丸山 善行

古きを温ねて新しきを知る

岡谷市
今昔物語

みんなと歩んだ100年



諏訪湖

諏訪湖氷上スケート十人連鎖(大正3(1914))写真提供：鮎澤 毅氏



現在の諏訪湖(令和8年1月9日 早朝撮影)

写真は、大正3年、諏訪湖で「カネヤマ式下駄スケート」を履いて楽しんでいる様子です。諏訪湖はスケート発祥の地である。下駄の底に鉄製の真つぐな刃をつけている。それが信州へ全国へと広がり、東京や名古屋からは中央線の開通で毎日「スケート列車」が運行された。

「諏訪の下駄スケートコレクション」130点は諏訪湖博物館に国の登録有形民俗文化財に登録されている。諏訪湖のスケート文化は地球の温暖化により見られなくなった。今は諏訪大社秋宮リンクや、やまびこ国際スケートセンターで子どもも大人も一緒にスケートを楽しむ人々の姿がある。

今井区ふれあい広場「ゆめっ子」に参加している お母さんとお子さんたちが、市議会を訪れてくれました。



この日は、議場や市長室等、日頃はなかなか入れない場所を見学し、皆さんドキドキわくわくと貴重な体験の連続となりました。参加されたお母さん方は自由に写真を撮ったり、子ども達と触れ合ったりと楽しんでいました。

その後は保健センターへ移り、お母さん方と議員とで懇談を行いました。あるお母さんから「平日の日中に、市内の小学校の遊具で子どもを遊ばせたいけど使っていないの?」と質問をいただき、後日校長会で検討していただくことになりました。お母さんの想いが通じたのか校長会から「平日の日中でも遊んでいただいて構いませんよ(ケガ等には十分注意してください)」と前向きな回答をいただきました。

懇談の中で感じたことは、「意外と市の子育て支援事業を知らないお母さんが多い」ということでした。届けたい情報がなかなか届かない事実を目の当たりにし、大きな課題と感じた懇談でした。

参加された皆さんありがとうございました。

市議会では、市民の皆さんのご意見等をしっかりと
お聴きし、広報広聴活動を強化して参ります。

(文責：今井浩一委員)



表紙の説明

議会報告会の主な内容について

- 第1部** 議会のしくみ、議会改革、各常任委員会(総務・社会・産業建設)の行政視察の報告
- 第2部** 各委員会ごと意見交換、政策提言について
 - 総 務：大規模災害に対する地域防災、教育(川岸学園)
 - 社 会：健康寿命の延伸(バージョン2)、市民病院
 - 産業建設：若者や女性が活躍できる新たな仕事のかたち 等